

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 市 長	平成 26年 6月 19日
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 静岡県富士市今泉700番地の1	報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） ジャトコ(株) 取締役社長 本田 聖二

京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。	
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001
適用範囲	本社（A地区、B地区、C地区）、富士地区（第1地区、第2地区、第3地区、第4地区） 函原地区、富士宮地区、掛川地区、京都地区、八木地区
導入年月日	平成10年 6月 30日
認証番号	497860 UM
基本方針	環境とクルマが共生できる社会の実現 テクノロジー：エネルギー伝達効率の高いトランスミッション開発 汚染予防：環境問題の未然防止及び法令の遵守 資源有効活用：資源、エネルギー使用の最小化 継続的改善：環境マネジメントシステムの有効性向上
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	毎年度初めに全社環境EMPが制定され、それに基づき各地区毎に地区環境EMPを制定する。削減目標については下記の通りです。 平成25年度 全社ではCO2削減目標は売上高当たりのエネルギー量前年度比2%減 廃棄物削減目標は前年度比2%減。
目標を達成するための取組の内容	生産体制の見直し（少量ラインの集約化）、事務所内空調、事務所・工場照明ON、OFF管理の強化、通路等の更なる照度基準内での照明間引き実施。 省エネ改善活動（エアークレール・消灯等）、社員の省エネ意識の醸成。
目標を達成するための取組の進捗状況	昼休み直間の設備電源切の徹底、事務所内空調、事務所・工場照明ON/OFF管理の強化、通路等の照明間引き実施済み 省エネ改善活動（エアークレール・消灯等）実施中 生産数減に対し生産体制を渡り歩き生産や寄せ止め生産に変更し設備電源停止時間を確保した。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	毎月の地区EMPフォロー会議にて環境管理責任者へ進捗状況の報告を行なっている。更に上期と年度末に振り返りを行い当初計画通りに進捗したかどうかの結果評価がされる。
事業活動に係る法令の遵守の状況	毎月の地区EMPフォロー会議にて遵守状況を確認するという要領で運用しておりこれまでに違反及び行政当局からの指導はなかった
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	社内評価として毎月EMPフォロー会、年度初と年度末には全社環境統括委員会が開催される。 内部監査システムがあり毎年実施され更に 社外評価としてUL DQSにて毎年監査を受けシステム評価及び継続的な改善に取り組んでいる

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。